

海面水温・海流1か月予報
(令和7年5月10日から令和7年6月10日まで)

令和7年5月9日
気象庁発表

1. 海面水温

- オホーツク海南部、日本海北部、沖縄の南の海面水温は、向こう1か月、平年より高いか、かなり高いでしょう。
- 北海道南東方、本州東方、関東南東方、東シナ海南部、沖縄の東の海面水温は、向こう1か月、平年並か平年より高いでしょう。
- 日本海南部、東シナ海北部の海面水温は、向こう1か月、平年並か平年より低いでしょう。
- 四国・東海沖の海面水温は、向こう1か月、平年よりかなり高くなるでしょう。
- カムチャツカの東、ベーリング海およびアリューシャン近海、南鳥島近海から日付変更線付近、南シナ海、フィリピンの東、マリアナ諸島近海、ミンダナオ島の東からニューギニア島の北の海面水温は、向こう1か月、平年より高いでしょう。
- アリューシャンの南、日本のはるか東から日付変更線付近の海面水温は、向こう1か月、平年よりかなり高いでしょう。

2. 海流

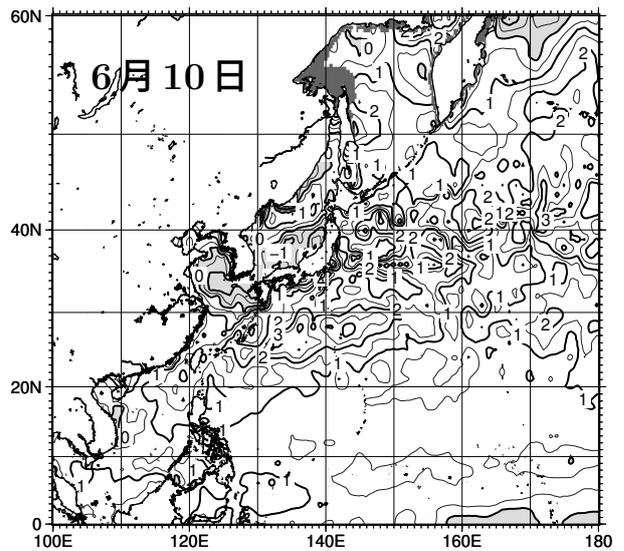
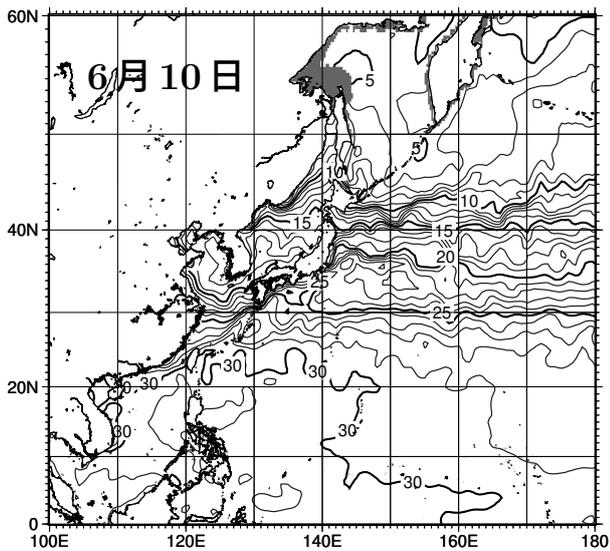
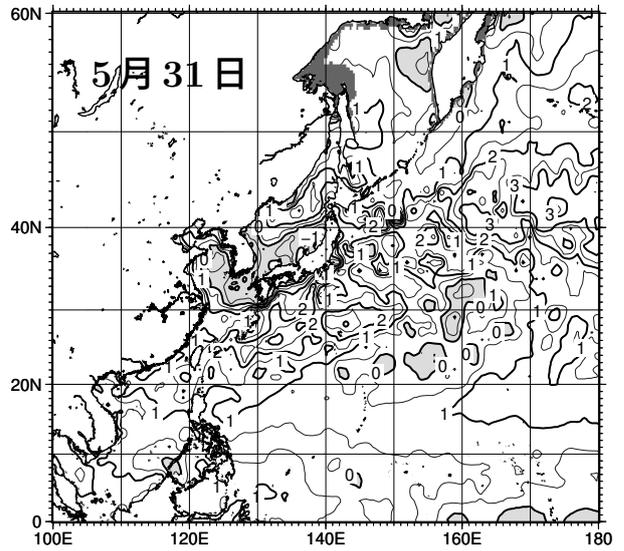
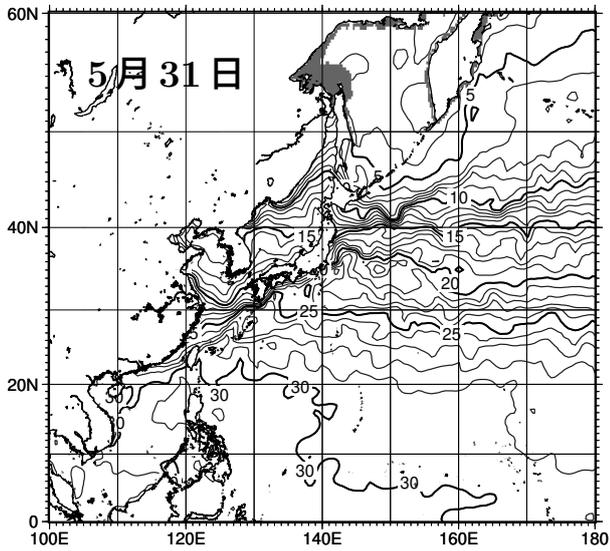
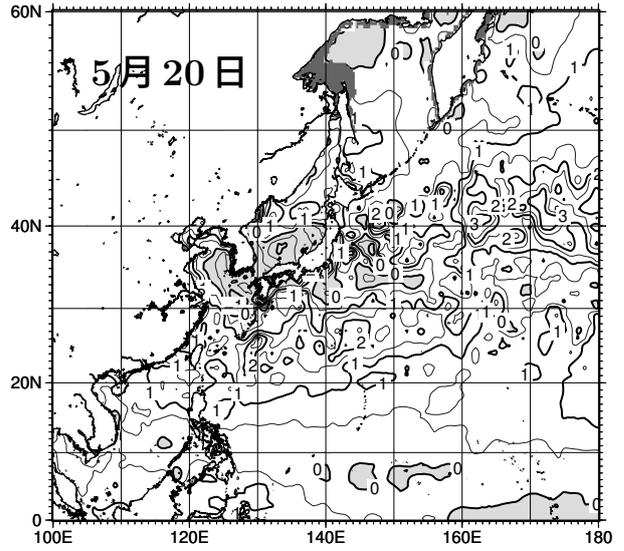
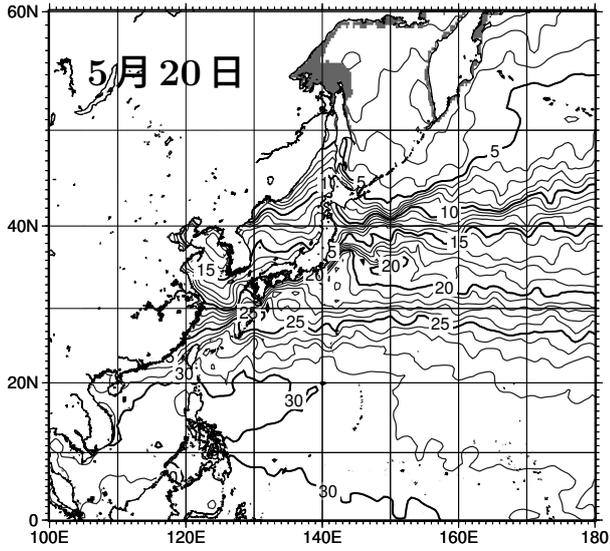
- 黒潮は、都井岬では、引き続き接岸して流れるでしょう。足摺岬、室戸岬、潮岬では、接岸して流れるようになるでしょう。潮岬沖を東に流れ、東海沖の最南位置は32.5°N、137.5°E付近となるでしょう。伊豆諸島付近では、三宅島付近を流れるようになるでしょう。房総半島では、引き続き接岸して流れるでしょう。
- 親潮は、沿岸寄りの分枝の南限位置が41.5°N、144°E付近、沖合の分枝の南限位置が40.5°N、147°E付近になる見込みです。親潮の面積は、平年より小さいでしょう。
- 対馬暖流の勢力は、平年より弱いか、かなり弱いでしょう。

本予報及び日別の予想図については、「海洋の健康診断表」からもご覧いただけます。最近の実況の経過については、「海洋の健康診断表」の海域ごとの診断(週から月規模の海洋の変動)で解説しています。

海洋の健康診断表の URL : <https://www.data.jma.go.jp/kaiyou/shindan/>

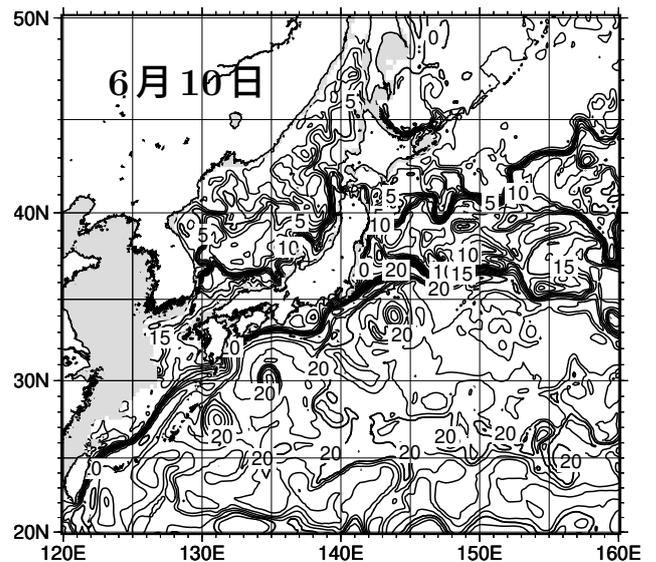
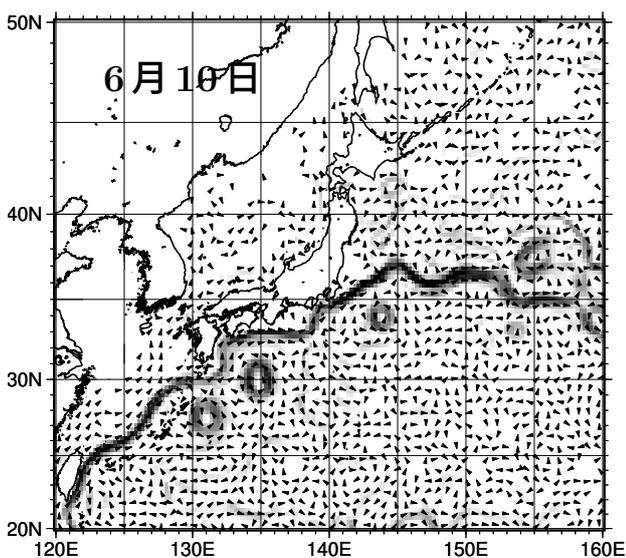
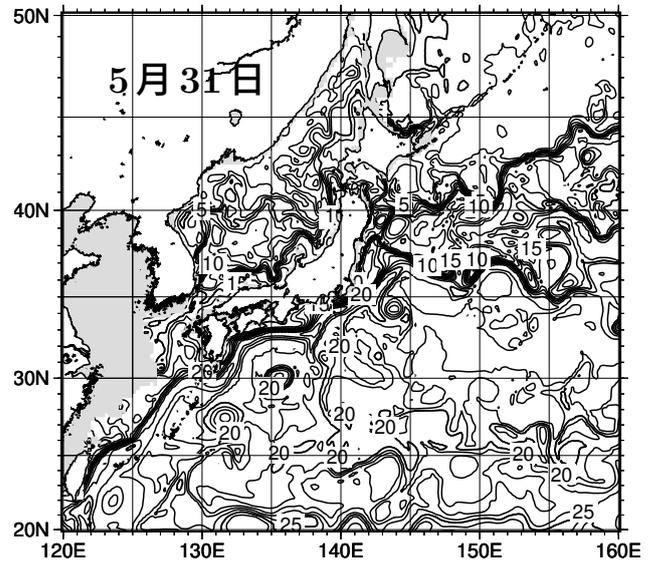
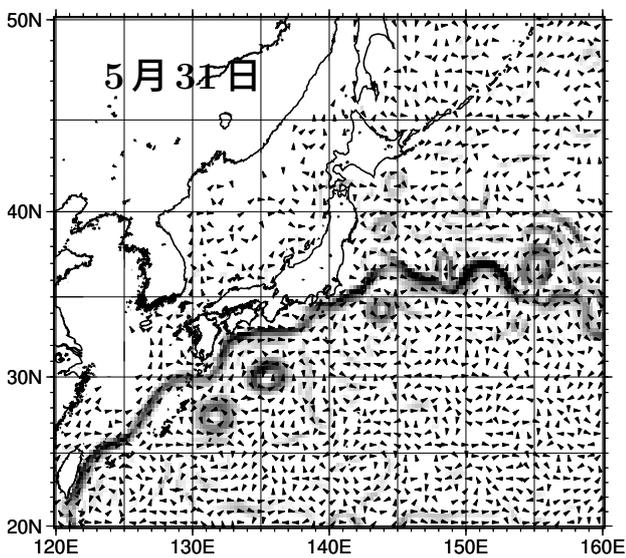
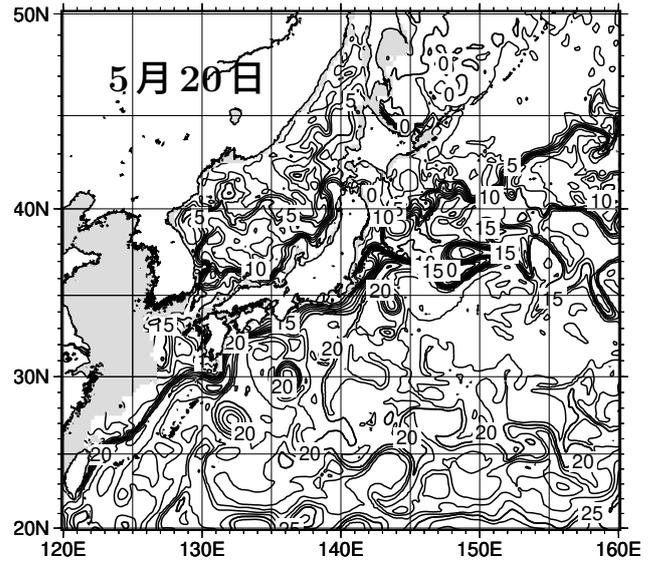
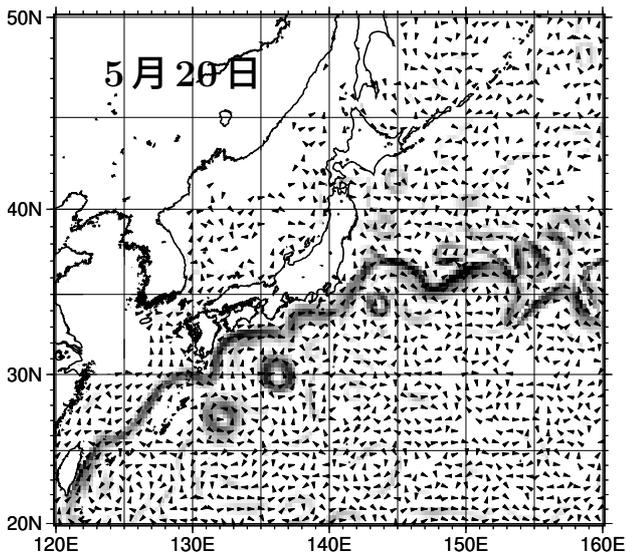
本予報の URL : <https://www.data.jma.go.jp/kaiyou/data/db/kaikyo/ocean/forecast/month.html>

[海面水温・海流1か月予報資料 (海面水温予想図)]

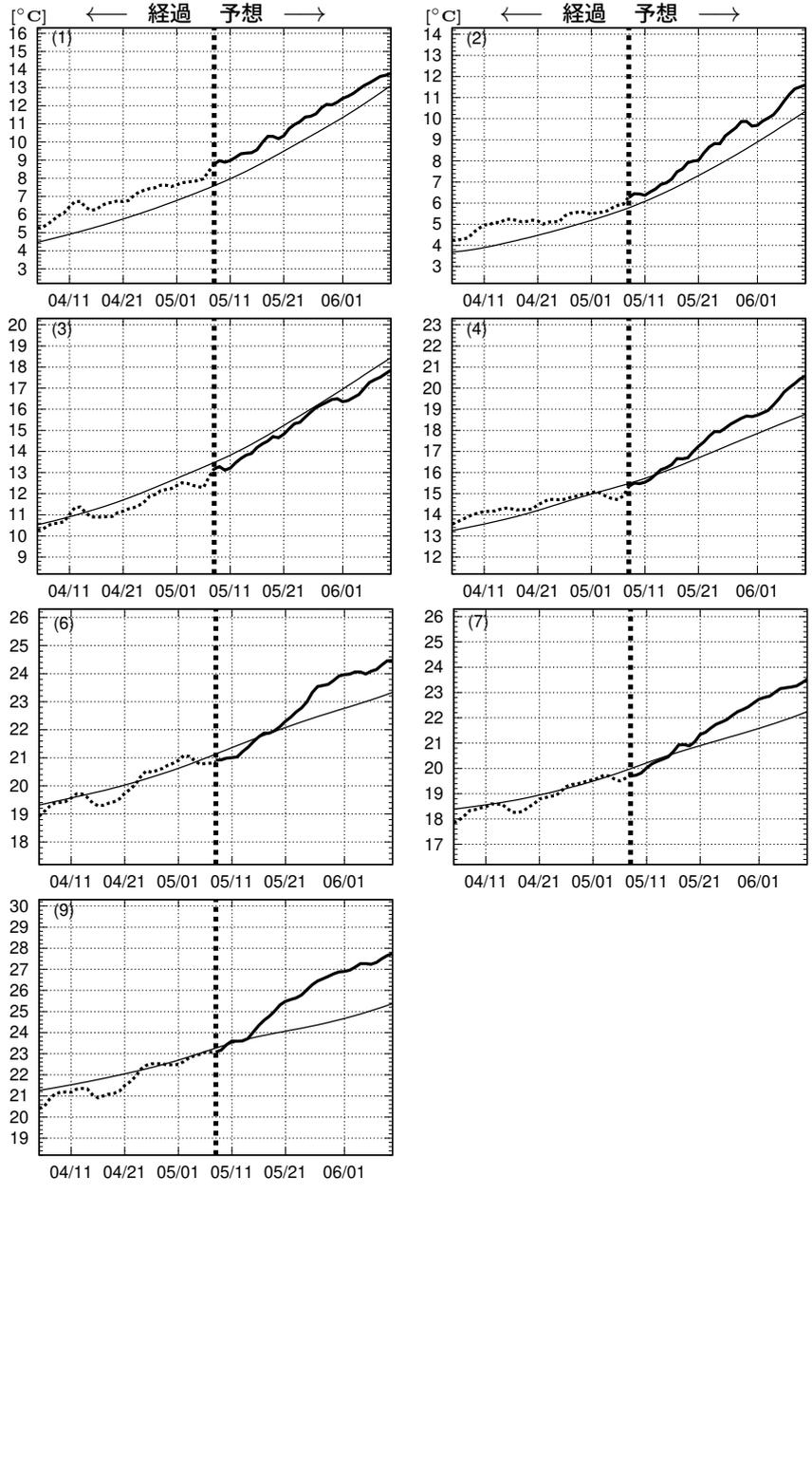
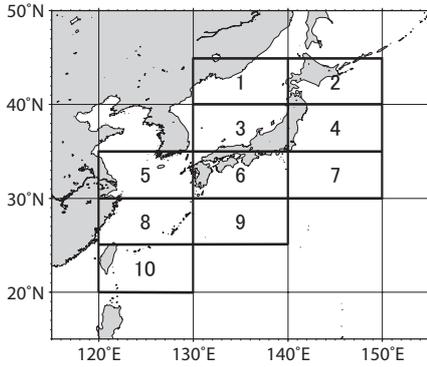


海面水温予想図 (左列) : 海面水温を 1°C ごとの等値線で示しています。
 海面水温予想平年差図 (右列) : 陰影部は海面水温が平年値より低い海域を表します。
 濃い陰影部は予報開始日において海氷のため海面水温データのない海域を表します。

[海面水温・海流1か月予報資料(海流予想図)]



海流予想図(左列):海面付近の海流の向きを矢印で、速さを陰影の濃淡(単位:1ノット≒0.5m/s、図ではktと表記しています。)で示しています。深さ100mにおける水温予想図(右列):水温分布を1°Cごとの等値線で示しています。陰影は、水深が100m未満の海域を表します。



左上に示す海域 (1 ~ 10) における平均海面水温の時間変化：時系列図の左上の数字は海域を表します。点線は最近の実況の経過、太い実線は予報、 細い実線は平年値を表します。